大阪市認知症施策推進計画について

資料１

１．これまでの経過など

◆ 大阪市では、認知症施策を総合的・計画的に進めていくため、新たに「大阪市認知症施策推進計画」を作ります。

◆ 認知症の人が、尊厳を持ちながら希望を持って暮らせる社会にするためには、まず、認知症の人の声を聴き、認知症の人の立場で考えることが必要です。 そして、認知症の人や家族等とともに、認知症施策を進めていく必要があります。

◆ そのために、令和７年度に、「認知症の人とその家族等の意見を聴く取組」を実施し、みなさんから意見を伺いました。

◆ 本日は、「お聴きした主な意見」や、 お聴きした意見を踏まえて「これから取り組んでいくこと」について報告します。

２．お聴きした主な意見　…２ページ

３．これから取り組んでいくこと　…３ページ

４．みなさまにお願いしたいこと

◆ この取組に参加いただいたみなさまの意見や参加した感想などについてお聴かせください。

２．お聴きした主な意見

① 認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解に関すること	● 何もできないと決めつけられて嫌だった。まだ自分でできることもある。 ● 偏見があると感じる。 ● 症状に対して不安に思う。（道に迷うかもしれない、自分の名前を忘れてしまうかもしれない、今日がいつなのかわからなくなるかもしれない 等）
② 認知症に係る相談窓口の情報に関すること	● 認知症かもしれないと思ったときに、どこに行っていいかわからなかった。
③ 認知症の人とその家族等が集まる場や活動する場などの様々な居場所に関すること	● 他の認知症の方の話が聴きたい。他のなかまと会う機会がほしい。 ● 誰かに話すこと、相談することが大切だと思う。一人で抱えきれなくなったら、支援者へ相談して、聴いてもらっている。 ● 働いていたい。 ● なかまが集まる場に通っていると、様々な情報が得られる。みんな一緒だと感じることができる。聞きたいことを気兼ねなく聞くことができる。 ● 色々なことができる居場所がある。その人によって居場所が選べるようになればいいと思う。
④ 自身の思いや意見を表出できたこと、取組への参画に対して感じたこと	● 思いや話を聴いてもらえて嬉しい。 ● この取組に参加できたことをありがたいことと思う。

３．これから取り組んでいくこと

① 認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解に関すること	だれもが認知症を「自分ごと」として考えられるように、認知症についての正しい知識や、認知症の人への理解を深めていく必要がある。	● **認知症について、分かりやすい啓発資料を作り、広く届けていきます。** ● **子どもから高齢者まで、さまざまな人に伝わるように働きかけます。**
② 認知症に係る相談窓口の情報に関すること	相談窓口の情報が、必要とするときに認知症の人とその家族に届くよう、より身近な場所への広報周知について改めて検討する必要がある。	● **相談窓口を周知するチラシ等を配付する場所や掲示する場所の見直しを行います。** ● **初期集中支援チーム等において、地域の状況を踏まえた積極的な訪問や働きかけを行います。**
③ 認知症の人とその家族等が集まる場や活動する場などの様々な居場所に関すること	認知症の人等が、自分に合った居場所をみつけることができるように、様々な居場所に関する情報が届くよう広報周知を行う必要がある。	● **認知症の人の社会参加の促進を図っていくため、居場所の確保や居場所へつなげる仕組みを強化していきます。**
④ 自身の思いや意見を表出できたこと、取組への参画に対して感じたこと	認知症の人の声を聴き、認知症の人の立場で考え、認知症の人や家族等とともに、認知症施策を進めていく必要がある。	● **「認知症の人とその家族等の意見を聴く取組」を続けていきます。** ● **認知症の人が、自らの経験等を話す機会を増やしていきます。**